わげんあいご　びてんぎょうし
和顔愛語・美点凝視　校長室からご家庭へ　　R4.3.11(金) 文責：百田

どこから見ても胸を張ってお薦めできる生徒達が本日めでたく卒業いたしました

式 辞

六十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは、三年間、節目節目によく頑張って、大きく成長し、たくさんの成果を上げてくれました。本当に有り難う。

あの九月の体育大会では、三百名もの保護者やご家族に見守られながら、どの場面を見ていただいても恥ずかしくない、実に感動的な、ときにはほほえんでしまうようなすばらしい体育大会、文字通り史上最高の体育大会を成し遂げてくれました。

三年生のリーダーシップが光り、三年主任の阿部先生の言葉を借りれば、「競技の実況や応援、趣向を凝らした結果発表など、体育大会全体を通して、みんなの力で大会を盛り上げよう、という心意気が感じられた体育大会でした。」

平面では、常に時間に追われながらも、細部まで緻密で、迫力のある、完成度の高い作品に仕上がりました。

立体では、テープを裂くときなど、ツメが当たって、皮膚がちぎれそうになりながらも、最後までやりとげました。

どんなときにも、一人一人が最上級生、というリーダー意識を持って、後輩に教えたり、手本となる行動をしたりする姿がありました。そんな三年生に一生懸命ついていった一年生、二年生の姿にも、思わず胸が熱くなりました。

他にも、特筆すべきこととして、ふるさとの良いところを再発見し、これに磨きをかけ、お世話になっている地域社会に貢献しようとするための三方学、ミカタ・リサーチがあげられます。

昨年度から軌道に乗ったこの探究学習で、町役場や博物館、試験場や民宿など多くのみなさんのご指導やご支援を受けながら、さらにレベルアップさせてくれたのもみなさんです。

専門家からただ教わるばかりではなくて、「私たちにも、今、何かできないか」「若狭町の経済を豊かにするための何か方策はないか」と言った想いが高まり、魚の骨を利用しての骨せんべいや骨酒を考案したり、レインボーライン山頂公園の案内図を考え出し、実際に案内板やランチョンマットとして採用していただいたりしました。これらのことは多くのマスコミにも取り上げられ、高い評価をいただきました。

もちろん、学生の本分である学習においても、毎日の復習とテストの間違い直しなどをきちんと行い、常に嶺南地区トップの成績を維持してくれました。

『さすが三方中学校』、このように素晴らしい生徒や職員が集う学校に勤務できたことを、校長を務めさせていただけたことを、私自身、とても誇りに思います。みなさんの頑張りと成長ぶりを、まるまる三年間、一番近くで見てこれたことを一生の宝とさせていただきます。

どうかみなさん、これからも「すべてに感謝する気持ち」を忘れずに、たくさんの本を読み、仲間とたくさんの議論をし、たくさんの体験を積み重ねていってください。

今後、二十年先、三十年先を見通せるだけの視野の広さと、多様に変化していく社会に対応できるだけの基礎的な知識をどんどん身につけていってください。わからないことがあったら、自分たちで調べて、自分たちの頭で考えていってください。そうするための力はもう十分ついていると思います。

私は、みなさんが、これからの変化し続ける社会においても、仲間と議論し、切磋琢磨しながら、その知識を、知恵や行動に高めていってくれるものと確信しています。そんなみなさんが活躍される姿を、これからもとても楽しみにしています。どうかくれぐれも、健康第一、安全第一で、精一杯頑張っていってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様がここまで立派に成長されたことを心からお慶び申し上げます。

また、本日ご臨席を賜りました渡辺町長様をはじめとするご来賓の皆様方にも、これからのふるさと若狭町や日本を担ってくれる生徒たちの成長を、今後とも見守っていただきますよう、お願いを申し上げ、式辞といたします。

令和四年三月十一日

若狭町立三方中校長　　百田　忠浩